



1/5
木

一文字一文字に気持ちを込める

新春書き初め会

📍塩尻総合文化センター

新春恒例の書き初め会を開催し、市内の未就学児～中学生42人が参加しました。参加した子どもたちは、塩尻書道連盟の皆さんの指導を受けながら、「生きる力」「つよい心」などの文字を書いたためていました。子どもたちは集中力を高め、一文字一文字を丁寧に書き込んでいました。



1/8
日

3年ぶりに開催！ 引き締まった表情で行進

令和5年塩尻市消防出初式

📍大門商店街、レザンホール

3年ぶりに新年恒例の消防出初式を開催。観閲式では、各地区の消防団員の皆さんが堂々と分列行進を披露し、市民に対する防火・防災意識の啓発を込めて歩みを進めました。観覧者は、行進者に手を振ったり写真を撮影したりして、久しぶりの観閲式を楽しんでいました。

観閲式後には式典が行われ、日頃から地域の防火・防災活動に尽力している団体・団員の表彰や消防団音楽隊による演奏が行われました。今年の災害ゼロに向けて、消防団・地域で気持ちを新たに防災活動に取り組んでいきます。





1/9 月

健康や安全を祈念する 新年の恒例行事

三九郎

市内各地

新年の伝統行事「三九郎」が市内各地で開催。全国的に「どんど焼き」と呼ばれるこの行事は、1年の健康や安全などを祈念して行っています。大門田川町では、児童・保護者約50人が集まりました。やぐらは点火後一気に燃え上がり、子どもたちは残り火で繭玉やマシュマロなどを焼き、満足そうな笑顔を見せていました。



1/11 水

自分たちで塗って使って 育てていく

育てる漆器プロジェクト

塩尻市榎川屋内運動場(すばーく榎川)
別棟会議室

木曾漆器青年部は、国指定伝統的工芸品「木曾漆器」の作り手が減少している中で、地元子どもたちが漆器に深く触れる日常を創出するため「育てる漆器プロジェクト」を立ち上げました。榎川小中学校のふるさと漆器学習の一環で、生徒たちが給食で使用するトレーに自ら漆塗りを施し、傷が付いても直しながら毎日使い続けて「育てて」いきます。

今回は、木曾漆器青年部と地元の伝統工芸士による指導のもと、第1回目の漆塗り体験が行われました。5年生の永井琴瀬さんは「自分で塗ったトレーを使っていくことが楽しみ」と一生懸命に漆塗りをしていました。

※この事業は、令和4年度長野県地域発元気づくり支援金を活用しています。